

～福島映像祭2013上映作品決定～
「東電テレビ会議」が劇場公開
そして、飯舘村の酪農家が映画監督デビュー。

様々な映像を通じて、福島のおかれた現状を共有しようと、9月14日（土）～9月20日（金）の1週間、東京で「福島映像祭」を開催します。ドキュメンタリー映画だけでなく、福島県内の民放テレビ局も参加。福島県内で放送されている報道番組をはじめ、未公開のドキュメンタリーなど計13本を上映します。

映像祭での目玉は、特別上映作品の「東電テレビ会議映像」。2011年3月11日の事故発生から15日までの東京電力のテレビ会議映像を劇場版として編集し、一挙上映します。「福島第一原発事故とは果たしてどんな事故だったのか?」「どんな情報が隠されていたのか」。現在の汚染水漏れにつながる事故の構造を明らかにします。

もう一つの目玉は、飯舘村から避難を余儀なくされた酪農家・長谷川健一さん自身が撮影・監督したドキュメンタリー作品です。3.11の事故後、未曾有の原発事故の中、自身の記録を克明に残す必要があると、ビデオカメラを購入した長谷川さん。乳牛が殺処分に送られる様子や家族が避難する前日の様子など、個人の記録を映画化しました。

期間中は、上記作品のほか、フリースペースの2つのスクリーンで、一般市民からの公募作品が多数上映予定。また、福島県内のテレビ局かで働くディレクターが一堂に集まるトークや長谷川健一さんの講演なども、イベントも多数予定しています。ぜひ、貴媒体にて、本イベントをご紹介いただければ幸いです。

福島映像祭開催概要

主催：特定非営利活動法人 OurPlanetTV

共催：ポレポレ東中野／早稲田大学大学院ジャーナリズムコース

日程：9月14日（土）～20日（金）

会場：ポレポレ東中野 および スペース&カフェ ポレポレ坐（東京都中野区東中野4丁目4-1）

入場料：当日1500円／前売り3600円（3枚セット）

※一部無料や500円、1000円のプログラムがあります。詳細はチラシをご参照ください。

URL：<http://fukushimavoice.net/fes>

福島映像祭 in 早稲田

日程：9月26日（木）14時～20時

会場：早稲田大学大隈講堂小講堂（26日）

※京都の龍谷大学でも9月23日に関連するイベントが開催されます。

上映作品（詳細な内容、上映助ジュールは添付のチラシをご参照ください）

*特別上映作品

『報道ドキュメント「東電テレビ会議」』（2013/OurPlanetTV/約240分）

『飯館村 わたしの記録』（2013/監督 長谷川健一/OurPlanetTV/約70分）

※9月16日、17日飯館村の酪農家として、映像記録を撮り続けた長谷川健一さんのトークあり。



*テレビ作品

『Fukushima Reporters ~Keep the Cameras Rolling~』（福島中央テレビ/50分/日本語字幕版）

『原発水素爆発 わたしたちはどう伝えたのかII』（福島中央テレビ/47分）

『母とともに 避難区域に灯る一つの明かり』（福島テレビ/54分）

『闘う先生』（福島放送/46分）

『それでも希望のタネをまく～福島農家2年めの試練～』（テレビユー福島/50分）

『農業をあきらめない～旧警戒区域の農家たち～』（福島放送/26分）

※9月15日に、福島県内の民放4局のディレクターが一堂に集まるトークイベントを開催します。



*映画

『"BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW" Omnibus 2011-2012 for FUKUSHIMA』（日本/63分/監督：前田真二郎ほか）

『霧の向こう*Yonaoshi 3.11』*原題：AU-DELA DU NUAGE（日仏合作/94分/監督：ケイコ・クルディ）

『天に栄える村』（日本/106分/監督・編集：原村政樹）

『福島 生きものの記録』（2013年/日本/76分/監督・製作：岩崎雅典）

『福島へようこそ』*原題：Welcome to Fukushima（ベルギー/60分/監督・撮影：アラン・ド・アルー）

■この件のお問い合わせ

NPO 法人 OurPlanet-TV（担当：高木/白石）

東京都千代田区猿樂町2-2-3NSビル202 WEB <http://www.ourplanet-tv.org>

TEL：03-3296-2720 FAX：03-3296-2730 Eメール info@ourplanet-tv.org